

“うちわ”と“レンタサイクル”で楽しむエコな花鳥風月

甲府ホテル旅館協同組合(伴野公亮理事長)では、組合員の旅館・ホテルを訪れる宿泊客に少しでも暑さをしのいでもらうため、県内の風光明媚なスポットを紹介したうちわを5千本用意しフロント等で配布している。

うちわ配布のきっかけは、平成23年に発生した東



これまでに製作したうちわ(左端が今年のもの)

日本大震災により節電対策が迫られる中で、「山梨の自然が感じられるうちわを使い、お客様に快適に過ごしてもらいたい。」との思いから製作することになった。

組合では、毎年、四季折々の風景や県内の観光地などの写真を取り入れ、見た目も涼しげなうちわになるよう工夫を凝らしており、今年は昇仙峡(甲府市)、清里高原(北杜市)、富岳風穴(鳴沢村)、西沢渓谷(山梨市)と富士山の写真を採用した。裏面には組合員の旅館・ホテルを掲載し、一昨年から組合事業として取り組んでいる「レンタサイクル」の設置場所も紹介している。猛暑が続く中、気軽に涼を楽しめる“夏の風物詩”は外国人にも好評で、宿泊客に毎年さわやかな風を届けている。

また、甲府市から委託を受けて実施している「レンタサイクル」は、組合員の旅館・ホテルなど7カ所に



組合員の旅館・ホテルなどで設置されている
レンタサイクル

設置された電動アシスト自転車を1日500円(子供用普通自転車は1日300円)で利用できる。組合では自転車で観光名所を周遊できるモデルコースの作成や市内のサイクルショップと提携した自転車等の修理、電動アシスト自転車用のバッテリー交換等への対応など、利用者が気軽に利用できる環境を整備しており、山梨の自然や風景、“風”を直に感じられるツールとして一役買っている。